

目標達成計画

作成日: 平成 26年 4月 13日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	49	外出支援のみならず、余暇活動への参加に対しても偏りがあり、周辺症状の不安定さや、居室に閉じこもりがちな方に対する支援が行き届いていなかったり、結果的に不参加であっても、アプローチの記録が残っていない等の現状がある。	全体に目を向ける個別の支援とアプローチの工夫。	個別の余暇活動に対して、月ごとのチェック用紙を作成、取り組みが分かりやすいように利用者担当中心に方向性を検討。得意、興味、好み、又アプローチの工夫など、情報の共有がしやすく、取り組みをスムーズに継続できるような方法を考え実行する。	6ヶ月
2	35	その都度のマニュアルの整備。地域との連携。	新しい情報へ目を向け、その都度備えに対して万全の取り組みが出来る様に努力する。	地域のグループホーム連絡会等でも情報交換と取り組みを共有して協力体制を整える。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。